



# あと一步の向上に向けた取組

## 函館市立的場中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

### 1 学力向上の具体的な方策

- ① 家庭学習の習慣化を目指した「チャレンジタイム」の実施  
→ 北海道教育委員会主催の「チャレンジテスト」への参加
- ② 各教科による宿題の工夫
- ③ 「生活実態調査」の実施
- ④ 「食に関する授業」と「みそ作り体験」の充実

### 2 取組の概要

#### ①について

漢字や社会科の基礎事項についての30問程度の練習プリントを配布し、家庭学習として毎日取り組む。2週間後に取り組みの成果を「チャレンジタイム」（検定テスト）で確認する。

#### ②について

数学科による「ポイントラリー」制度や、理科によるレポート提出などを行い、家庭学習の習慣の確立や、基礎学力の向上に努めている。

#### ③について

道教委で奨励している「早寝早起き朝ご飯運動」の取り組みを行っている。定期テスト前に毎日、一日の過ごし方を記録し、保護者からコメントをもらって担任に提出させる。

#### ④について

自分の生活や将来の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進できるように、食に関する授業を実施している。

みそづくりをすることで、日本の伝統的な食品に興味や関心を持たせ、日本の食文化を見直す機会としている。できあがったみそは、給食で試食している。

### 3 成果（○）と課題（●）

- 「早寝早起き朝ご飯運動」に関しては、ほとんどの家庭に浸透した。
- 家庭学習の習慣化がなされ、学習に関する意欲も向上した。
- 毎日朝食をとり、給食も残さない生徒が大半である。
- 宿題やテスト勉強など義務としての家庭学習はきちんとするが、予習などの自主的な家庭学習の定着までにはいたっていない。